

2018年度

事業報告書

2018年4月1日から2019年3月31日まで



2019年3月に耐震補強工事を完了し、外壁も一新した大学京都キャンパス

学校法人 平安女学院

Heian Jogakuin (St. Agnes') School

目 次

I	「建学の精神」について	1
II	理事長・学院長・大学学長からのメッセージ	1
III	法人の概要	
	1. 設置する学校・学部・学科等	2
	2. キャンパス	2
	3. 理事・監事・評議員	2
	4. 学院長、学校長、大学副学長・学部長	3
	5. 入学定員、学生数等の状況	3
	6. 教職員の人数	5
	7. 学院の沿革	6
IV	事業の概要	
	1. 法人	7
	2. 大学・短期大学部	8
	3. 中学校・高等学校	14
	4. 大学附属幼稚園	17
V	財務の概要	
	1. 2017年度の決算概要	19
	2. 2017年度の決算内容	20
	3. 財務状況の推移	24
	4. 学校法人会計の概要と用語説明	25

I 「建学の精神」について

知性を広げ 望みを高くし 感受性を豊かにし そして神を知らせる

この言葉は、大阪の川口居留地で米国聖公会宣教師として活躍していたクインビー司祭が、1875（明治8）年3月20日付で本国へ書き送った手紙の中にあります。

この建学の精神は、本学院の教育の根底に流れています。キリスト教精神に基づいた教育理念であり、今日に至るまで受け継がれています。

II 理事長・学院長・大学学長からのメッセージ

「学校法人平安女学院 2018 年度事業報告書」がまとまりましたので、ご報告申し上げます。

2018 年度は、大学京都キャンパスとして使用している室町館の耐震改修工事を行いました。この工事に合わせて、校舎外壁タイルの一新、玄関前ロータリーの石畳化、女子トイレの一新、照明のLED化、学生の増加に見合った教室・食堂の増設、老朽化した机・イスの入替え、教室のガス空調室外機の全面更新等を実施いたしました。これで、学校法人平安女学院の全ての校舎の耐震工事が完了いたしました。

また、高槻キャンパスにある平安女学院大学附属幼稚園を2019年3月31日に廃止し、4月1日に平安女学院大学附属こども園を新設することにいたしました。そのため、0歳児から2歳児までの園児にも対応出来るように2018年7月から12月までの6ヶ月間をかけて、大規模改修工事を実施いたしました。大学も幼稚園も仮校舎を準備しての大工事でしたが、神のご加護を持って、両工事とも事故もなく、無事完了することが出来ました。神に感謝いたします。

お蔭様で、大学、短期大学、高等学校、中学校、こども園の全てにおいて、2019年4月までの3年連続で学生・生徒・園児在籍数が前年比増加しています。2018年5月1日現在の在学生総数1,354名の平安女学院が、前年比増加数で2017年が+62名、2018年が+78名、2019年が+108名と加速的に増加スピードが上昇しており、2020年度には大学、短期大学とも収容定員充足率が80%以上となることが確実な状況になって参りました。この勢いに乗り収容定員充足率が100%以上となるよう取り組んで参ります。

本年度で大きなインフラ投資は完了いたしました。については今後も、教育の質の向上を着実に図る絶え間ない努力を積み重ねる中で、健全な経営体制の構築と自律的なガバナンスの強化に取り組む所存です。

平安女学院は、145年の長い歴史と伝統に育まれたキリスト教精神に基づいた教育理念を受け継ぎながら、教職員が一体となって、生徒一人ひとりに目を配り、きめ細やかに対応し、優れた女性の育成に努めて参ります。

学校法人平安女学院 理事長・学院長
平安女学院大学学長
山岡 景一郎

「平安女学院のミッション宣言」

平安女学院は、21世紀に生きる夢のある学院として、輝くビジョンを旗印として掲げ、教職員は魅力ある人間となるため、常に研鑽に務め、危機感を持ち、勇気と創造力により改革を推進します。

全学院が一致協力のもと、中高大一貫教育を進めるための、教育課程を根本から見直すと共に、夢のある学科コースの創造に務めます。

労使協調のもと、健全な財政に基づき、教学の強化発展を図り、建学の精神であるキリスト教の教えに立ち、心身ともに自立し、日々変革する社会に適應しながら、感受性豊かで、知性と愛のある女性を育成します。

Ⅲ 法人の概要

1. 設置する学校・学部・学科等

(2018年4月1日現在)

(1) 平安女学院大学

国際観光学部 国際観光学科 (京都キャンパス)

子ども教育学部 子ども教育学科 (高槻キャンパス)

(2) 平安女学院大学短期大学部 (高槻キャンパス)

保育科

(3) 平安女学院高等学校 (全日制課程 普通科) (京都キャンパス)

(4) 平安女学院中学校 (京都キャンパス)

(5) 平安女学院大学附属幼稚園 (高槻キャンパス)

2. キャンパス所在地

(2018年4月1日現在)

京都キャンパス	京都府京都市上京区下立売通烏丸西入五丁目町172番地の2 代表電話 075-414-8155
高槻キャンパス	大阪府高槻市南平台五丁目81番1号 代表電話 072-693-2311

3. 理事・監事・評議員

(2018年4月1日現在)

〔理事〕 (5人)

理事長	山岡 景一郎	学院長、大学学長
理事	浦地 洪一	日本聖公会司祭
理事	磯野 眞紀子	短期大学部学部長
理事	山岡 祥子	国際観光学部教授
理事	関根 秀爾	裏千家事務総長

〔監事〕 (2人)

監事	下元 光明	司法書士
監事	瀧 紘一	元京都府亀岡地方振興局長

〔評議員〕 (11人)

山岡 景一郎	理事長	毛利 憲一	国際観光学部長
浦地 洪一	理事	黒井 いく	国際観光学部教授
磯野 眞紀子	理事	今井 千和世	中学校高等学校校長
山岡 祥子	理事	森 天宏	学校法人職員
関根 秀爾	理事	戸田 貴子	大学後援会顧問
谷口 吉弘	副学長		

4. 学院長、学校長、大学副学長・学部長

(2018 年 4 月 1 日現在)

〔学院長〕

名誉学院長 千 玄室 学院長 山岡 景一郎

〔平安女学院大学・短期大学部〕

学 長 山岡 景一郎
副学長 谷口 吉弘
国際観光学部長 毛利 憲一
子ども教育学部長 松尾 光洋
短期大学部長 磯野 眞紀子

〔平安女学院中学校高等学校〕

校 長 今井 千和世

〔平安女学院大学附属幼稚園〕

園 長 井上 容子

5. 入学定員、学生数等の状況

(2018年5月1日現在)

(1) 平安女学院大学

(単位：人、%)

学 部	学 科	入学 定員	収容 定員 ※	在学生数					収容 定員 充足率
				1 年	2 年	3 年	4 年	計	
国際観光学部	国際観光学科	90	380	98	76	67	74	315	82.9
子ども教育学部	子ども教育学科	90	360	63	61	44	55	223	61.9
総 計		180	740	161	137	111	129	538	72.7

※ 国際観光学部は編入学定員 20 人を含む。

(2) 平安女学院大学短期大学部 保育科

(単位：人、%)

入学 定員	収容 定員	在学生数			収容定員 充足率
		1 年	2 年	計	
100	200	68	67	135	67.5

(3) 平安女学院高等学校

(単位：人)

入学 定員	収容 定員	在学生数			
		1 年	2 年	3 年	計
320	960	148	130	150	428

(4) 平安女学院中学校

(単位：人)

入学 定員	収容 定員	在学生数			
		1 年	2 年	3 年	計
160	480	42	52	55	149

(5) 平安女学院大学附属幼稚園

(単位：人)

3歳児 定員	収容 定員	在園児数			
		3歳児	4歳児	5歳児	計
25	95	35	34	35	104

(6) 平安女学院 学生・生徒・園児総数・新入生総数

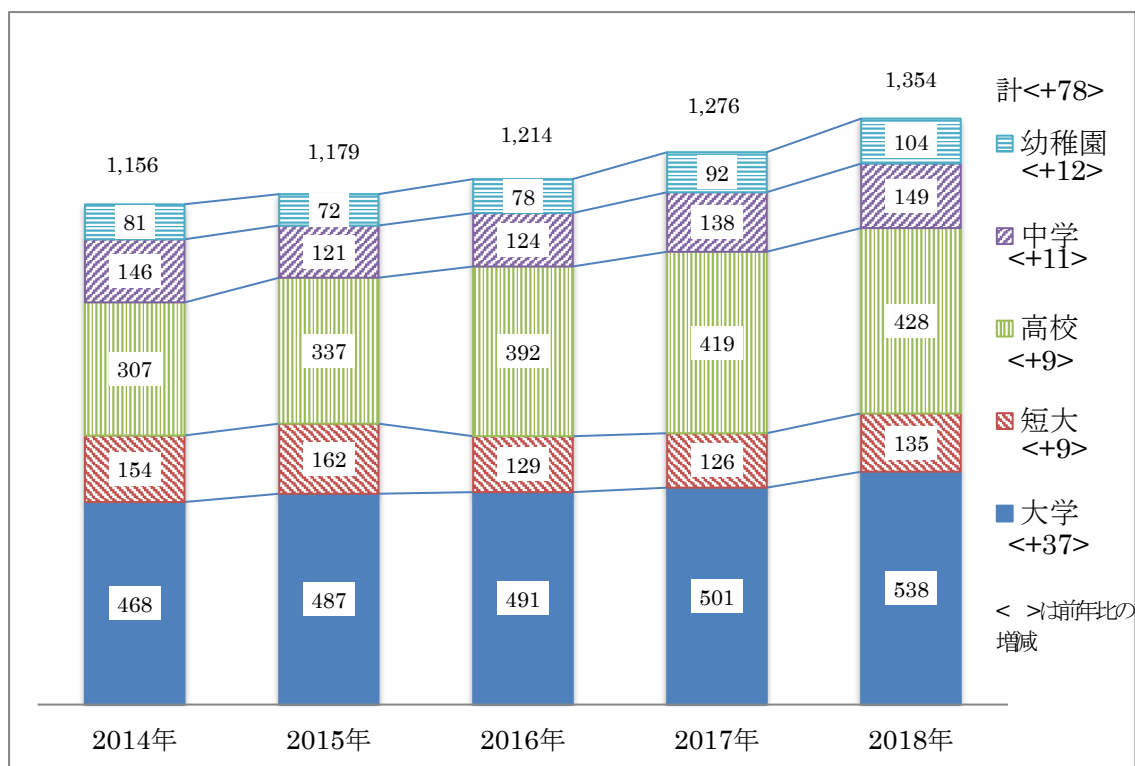
(単位：人)

		学生・生徒・園児数 () 内は「新入生数」			参考
		2017年5月1日 現在	2018年5月1日 現在	年間増減	2019年5月1日 現在
大 学	国際観光学部	284(82)	315(98)	+31(+16)	358(115)
	子ども教育学部	217(62)	223(63)	+6(+1)	221(53)
	小 計	501(144)	538(161)	+37(+17)	579(168)
短 期 大 学 部		126(70)	135(68)	+9(-2)	145(77)
平安女学院高等学校		419(130)	428(143)	+9(+13)	440(171)
平安女学院中学校		138(52)	149(42)	+11(-10)	157(64)
大 学 附 属 幼 稚 園		92(37)	104(38)	+12(+1)	141(*)
在学生総数		1,276(433)	1,354(452)	+78(+19)	1,462(480)

*附属幼稚園は、2019年4月から認定こども園に転換したため、新入生集計から除外

(7) 平安女学院 学生・生徒・園児総数の推移

(単位：人)



6. 教職員の人数

(2018年5月1日現在)

(1) 教 員

平安女学院大学・短期大学部 () 内は、特任教員内数

(単位：人)

区 分	専任(特任)					非常勤講師	合 計
	教授	准教授	講師	助教	計		
国際観光学部	10(6)	6(0)	0(0)	2(1)	18(7)	16	34
子ども教育学部	8(5)	6(0)	4(2)	1(0)	19(7)	16	35
大学計	18(11)	12(0)	4(2)	3(1)	37(14)	32	69
短期大学部	5(1)	2(0)	0(0)	6(3)	13(4)	8	21

平安女学院高等学校

(単位：人)

区 分	専 任						非常勤講師	合 計
	学校長	副校長	教諭	助教諭	常勤講師	計		
全 校	1	2	27	2	8	40	26	66

平安女学院中学校

(単位：人)

区 分	専 任						非常勤講師	合 計
	学校長	副校長	教諭	助教諭	常勤講師	計		
全 校	0	0	7	1	3	11	3	14

※学校長・副校長は中学校・高等学校兼務

平安女学院大学附属幼稚園

(単位：人)

区 分	専 任				兼 務	合 計
	園長	教諭	嘱託	計		
全 園	1	5	2	8	0	8

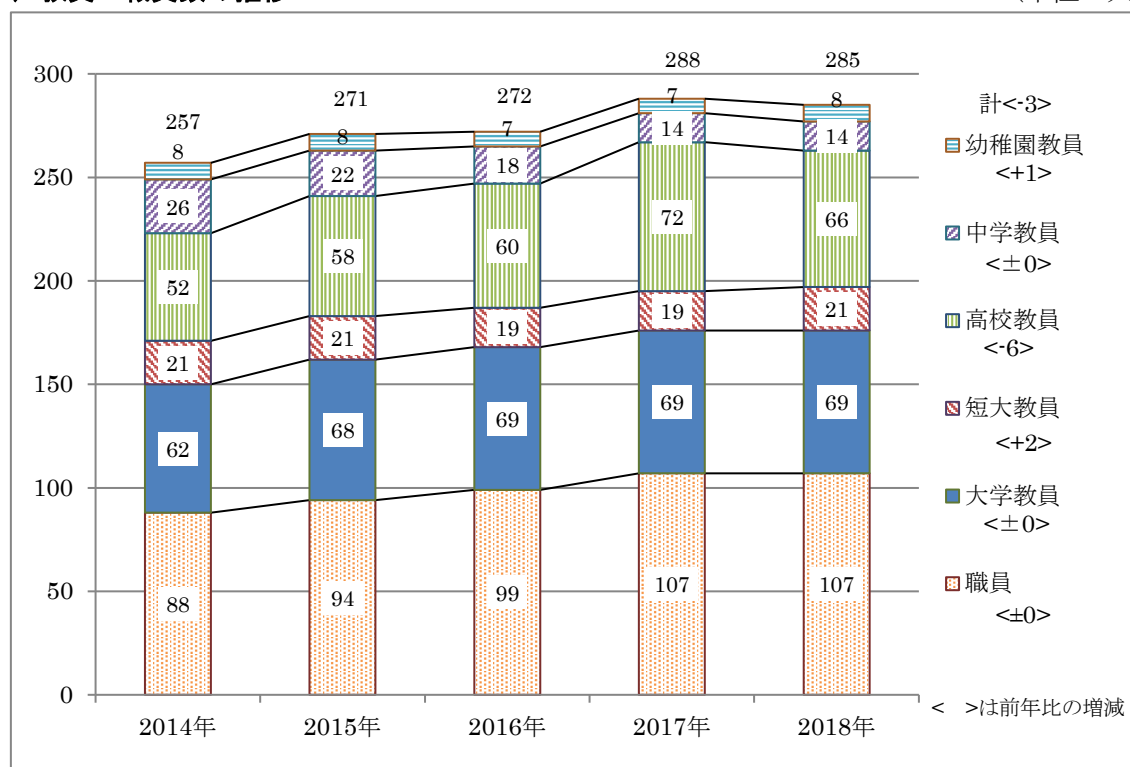
(2) 職 員

(単位：人)

区 分	法人本部	大学短大	中学高校	幼稚園	合 計
専任職員	10	15	8	0	33
嘱 託	8	15	8	0	31
契約職員	0	0	1	0	1
パートタイマー	2	25	2	13	42
計	20	55	19	13	107

(3) 教員・職員数の推移

(単位：人)



7. 学院の沿革

- 1875年 9月 米国聖公会宣教師ミス・エレン・G・エディが、大阪の川口にあつた居留地内に「エディの学校」を設立、生徒3名
- 1880年 4月 学校名を聖書の言葉から「照暗女学校」(英語名St.Agne's School)と改称
- 1892年 7月 米国聖公会は、京都での宣教を決議し、照暗女学校についても京都移転を決定し、学校と教会の用地1,672坪(5,520㎡)を取得(教会と現 中高敷地の68%)
- 1894年11月 学校名を「平安女学院」と改め、翌年4月の京都での開校を決定
- 1895年 6月 新校舎(現「明治館」)が落成
- 〃 9月 始業式。9月に新入生12名が加わり、生徒20名
- 1915年 4月 「聖三一幼稚園」を開設
- 1947年 4月 新たな六三制教育制度のスタートに合わせ、「平安女学院中学校」を設置
- 1948年 4月 「平安女学院高等学校」を設置
- 1950年 4月 「平安女学院短期大学」を開学
- 1966年 4月 聖三一幼稚園を「平安女学院幼稚園」に改称
- 1987年 4月 短期大学、幼稚園を大阪府高槻市南平台に新設した高槻キャンパスに移転
- 2000年 4月 創立125周年を機に「平安女学院大学」を滋賀県守山市にて開学
- 2002年 4月 短期大学を「平安女学院大学短期大学部」に改称
- 2005年 4月 高槻キャンパスにびわ湖守山キャンパスを統合
- 2007年 4月 研究環境を考慮し、「国際観光学部」を京都キャンパスに開設
- 〃 幼稚園を大学の附属とし、「平安女学院大学附属幼稚園」に改称
- 2008年 8月 旧京都地方裁判所所長官舎(2,148㎡)を大学施設として取得(現「有栖館」)
- 2009年 4月 大学「生活福祉学部」の募集を停止し、新たに「子ども学部」を開設
- 2014年 4月 高等学校に「幼児教育進学コース」開設
- 2015年 4月 大学「子ども学部」を「子ども教育学部」に名称変更
- 2019年 3月 「平安女学院大学附属幼稚園」を廃止
- 2019年 4月 前年度に大規模改修工事を実施し、「平安女学院大学附属こども園」を開設

IV 事業の概要

1. 法人

- (1) 寄附金募集事業…145周年記念募金を2018年12月から2020年3月までの期間でスタート
《2018年度 寄附金(募金)額と前年比》 (単位: 件、千円)

	寄附内訳	2018年度寄付金累計		前年度対比	
		件数	金額	件数	前年度比
一般寄付 金収入	学院振興寄付(一般)	4	1,608	2	1,420
	教育研究強化事業	54	3,379	6	-436
特別寄付 金収入	明治館・有栖館見学者寄付	3	268	-1	-343
	奨学金のため	187	563	10	18
	平安女学院創立145周年記念募金	211	30,300	211	30,300
	受配者指定寄付(145周年記念)	8	7,700	8	7,700
	その他特別寄付金収入	8	6,684	0	1,177
合 計		475	50,502	236	39,836
現 物 寄 附		7	1,795	3	-36,025

- (2) 学債の発行

ア. 学債の発行・残高状況

(単位: 件、千円)

	件数	金額
2018年3月末学債残高	296	879,100
2018年度の学債発行	18	67,000
2018年度の学債償還	11	28,700
期末学債残高(2019年3月末)	303	917,400

※2019年度の学債償還 25件 45,100千円

2020年度の学債償還 119件 364,800千円

エ. 期末残高・件数(単位: 件、千円)

	件数	金額
2013年度末	2	15,200
2014年度末	189	580,300
2015年度末	198	603,900
2016年度末	281	820,900
2017年度末	296	879,100
2018年度末	303	917,400

イ. 期末(2018年3月末)における学債申込者内訳

(単位: 件、千円)

	件数	残高金額
理事・評議員・教職員等	26	54,700
大学在校生・保護者・保護者親戚	108	292,400
卒業生・校友会等	169	570,300
合 計	303	917,400

ウ. 募集金利

(単位: %)

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
3年物	1.10	1.10	0.50	0.80	0.60	0.40	0.40
6年物	1.30	1.30	0.60	1.20	1.00	0.60	0.80

- (3) 校友会活動

2018年のホームカミングデーは、11月17日(土)に卒業生34名を含む63名の方々にご出席いただき、「感謝礼拝(聖アグネス教会)と秋のコンサート(明治館)」を開催しました。

感謝礼拝では、大岡チャプレンによるお祈りの後、校友会総会および京都支部総会が行われ、昨年度決算・活動報告、次年度予算・活動計画案が承認されました。

秋のコンサートでは、白根亜紀先生と桐岡亜由美先生によるオペラの世界に包まれ、白根先生のご指導で「おおシャンゼリゼ」を合唱し、楽しいひと時を過ごしました。

2. 大学・短期大学部

(1) 主な教育活動

ア. 国際観光学部

(ア) 教育の目的

国際観光学に関する専門知識、ホスピタリティ、語学力を身につけることを目指す国際観光学部はキャンパスでの学びだけでなく、海外の大学への留学、国際観光都市京都をフィールドとした学びを展開しています。

(イ) 主な教育活動内容

- a. 2015年7月から始まった京都市交通局との連携事業「きゅんきゅん KYOTO」は、今年度は2年生のジェネリックスキル受講生で担当、9月に「むし やしない特集／地下鉄四条駅あたり」を発刊して全21号、すべての駅のシリーズが完了しました。また、1年生のジェネリックスキル受講生で「地下鉄・バス一日乗車券で小旅行」のプランを考え、企画案の発表会を11月27日(火)に行いました。

- b. 今年度も修学旅行生のカイドの受入れを行いました。本学部で独自に受けている神奈川・千葉の5つの中学校の他、大学コンソーシアム京都他との連携事業であるB&Sプログラムにも、観光コース2年生全員に加え、外国語コースの2年生及び3・4年生の希望者が、ガイドとして積極的に参加しています。

KICSとの商店街活性化プロジェクトでは、2年生のジェネリックスキルで「おおきに京都アプリ」で紹介する候補商店街4カ所の印象調査を行い、報告書を提出しました。

- c. ハイウェイテラス京丹波整備事業では、京丹波ブランド検討委員会の活動を、10月26日(金)の「森の京都 観光プレゼンコンテスト」で本学のメンバー2名が発表。京都新聞社賞(3位)を受賞しました。

京丹波ブランド検討委員会では、3回の会議への出席を通して、ラベンダーを用いたアイスクリームやクッキーについて検討しました。京都丹波・食と森交流協議会との連携活動では、2019年1月27日(日)にモニターツアーを行い、3年の毛利ゼミで農家レストランを紹介するパンフレットを作成しました。

(ウ) 語学研修

- a. 秋学期から海外に留学する外国語特修コース2年生は16名となりました。昨年度から留学していた3年生の外国語特修コース3年生10名は随時帰国しました。
- b. 今年度の1年生のコース希望調査・振り分けを行ったところ、観光ホスピタリティ・京都学コース21名に対し、外国語特修コース73名となり、語学留学プログラムに対する積極的な姿勢が窺われます。留学先としては、現在8カ国19大学の提携校がありますが、その拡充も課題です。
- c. 帰国後も語学力をキープするため、「京都観光案内実習」の授業において、提携先の旅館でコンシェルジュとして、京都を訪れる観光客の質問や疑問に英語や中国語で対応し、旅行がスムーズにできるお手伝いをしました。

(エ) その他研修プログラム

項目	内容	日程
ビジネスインターンシップ	2・3年生17名が京都市内を中心に各所の企業・事業所における10日間の研修	8月～9月
観光フィールドワーク	舞鶴・伊根・竹田・城崎など山陰方面	8/20～25
海外フィールドワーク	クルーズを含むアメリカ研修	9/6～14
海外語学研修	カナダ(1)、台湾(2)、韓国(1)、フィリピン(8)	

(オ) アグネス イルミネーション

春学期終了後に室町館の耐震工事が行われることから、2018年度は「七夕イルミネーション」として6月22日(金)に点灯式を行い、七夕の翌日7月8日(日)まで開催しました。

イ. 子ども教育学部

(ア) 体験学習の設定

- a. 子どもの成長と学びをサポートできる先生・保育士となるために、大学での授業に加え、1年次から現場での体験学習の機会を設けています。
- b. 実習は次のとおりです。1・2年生は体験学習として小学校・幼稚園・保育所のいずれかのインターンシップに参加しています。1年生は火曜日、2年生は時期を定めて集中で取り組みました。

実習種別	学年	実習期間
幼稚園教育実習	4年	6月4日～29日
保育実習Ⅰa（施設）	3・4年	6月4日～15日
教育実習b（小学校）	3年	9月3日～10月2日 ※9/29(土)は運動会で出勤、10/1(月)は代休。
保育実習Ⅰb（保育所）	3・4年	9月3日～14日
保育実習Ⅱ	3・4年	11月12日～11月24日
介護等体験	2年	特別支援学校： 6月18日～19日、10月18日～19日 社会福祉施設 2月4日～8日、11日～15日、18日～22日

(イ) 実践研修

7月・8月のオープンキャンパスに合わせて「小学生のための連続講座 子ども教室」を開催しました。地域の小学生に「学ぶ楽しさ」「知るよろこび」を伝えるとともに、運営を手伝う学生にとっては実践の学びの場となりました。

日程	講座名	担当者	参加人数
7月22日	理科教室「風を感じる遊び」	三木教授	19
	味噌づくりを体験しよう	松本講師	27
8月4日	身近なもので楽器を作ってみよう	松園教授	18
	五感をひろげて造形遊び	山岡教授	16
8月5日	英語で遊ぼう	アーセン講師、中西准教授	30

(ウ) 教師を目指すための補習を実施

日々の授業に加えて「アグネス教師塾」を2018年度も開催しました。これは公立学校教員の合格を目指す補習教育の場であるとともに、教師として求められる資質や実践的な指導力を育成する場です。

後援会の助成金を得て、学長を塾長として講義・小論文対策・思考判断力の講座のほか人物対策面接もプログラムに組み込み、5月16日(水)から全8講座・109コマを行いました。

(エ) 英語教育

子どもたちに英語の楽しさを教えるためのキッズイングリッシュプログラムでは、少人数のワークショップ形式で会話力の向上を図っています。

8月12日(日)～27日(月)には11名の学生がニュージーランド国立ワイカト大学で英会話を学び、現地の小学校でのインターンシップでその成果を確認しました。

(オ) 就職状況

2018年度の卒業生は53名。うち39名(73.6%)が小学校教諭一種免許状を、46名(86.8%)が幼稚園教諭一種免許状を、39名(73.6%)が保育士資格を取得しました。

そして、就職希望者のうち71.7%が免許・資格を生かした専門職に就いています。

ウ. 短期大学部保育科

(ア) 教育のポイント

幼稚園教諭・保育士になるために２年間で実習を含めて各領域を系統的に学ぶ保育科では音楽教育に力を入れており、「かなでる ちから」「えんじる ちから」を身につけていきます。

(イ) 主な教育活動内容

- a. 入学前ピアノレッスンには新入生の 34 名 (44.1%) が参加、在学生向けの春休みピアノと打楽器講座には延べ 55 名が参加しました。

特定非営利法人リトミックセンターと連携している「幼稚園・保育園のためのリトミック」指導資格については、１級 42 名 (２年生)、２級 125 名 (２年生 60 名、１年生 65 名) が合格しました。

- b. ２年生の保育内容総合研究では授業で取り組んできた劇などを、2019 年 2 月 1 日 (金) に附属幼稚園の園児と保育科 1 年生に向けて披露しました。この日は 1 年生と 2 年生との最後の交流の場となり、歌とエールの交換を行なう保育科の学びの継承の場ともなっています。

- c. 8 月 11 日 (土) に、卒業生 22 名と教員 8 名が参加して、卒業生対象リトミック研修会を行いました。卒業生それぞれの保育現場について交流もあり、長く幼児教育・保育の現場で働く上でのよい学びの場となりました。

- d. 実践を学ぶ実習は次の表のとおり取り組んでいます。体調不良等でやむを得ず欠席した日数については、日を改めて補充実習を行っています。

実習種別	学年	実習期間
幼稚園教育実習Ⅱ	２年	6 月 18 日～29 日
保育実習Ⅰ (保育所)	２年	8 月 20 日～9 月 1 日
保育実習Ⅱ (保育所)	２年	9 月 21 日～10 月 4 日 高槻市立保育所での実習は 9 月 18 日～10 月 2 日
保育実習Ⅲ (施設)	２年	9 月 20 日～10 月 4 日
幼稚園教育実習Ⅰ	１年	11 月 7 日～11 月 20 日
保育実習Ⅰ (施設)	１年	2019 年 2 月 3 日～3 月 28 日

(ウ) 現場を知る機会

「保育・教職実践演習」では、現場を知る機会を持つため、外部講師を招いて次の講義を行いました。

- a. 「保育現場の現状と課題」10 月 24 日 (水)

講師：京都市子ども若者はぐくみ局幼保総合支援室から 2 名

- b. 「保幼小の連携」11 月 14 日 (水)

講師：長岡京市教育委員会指導主事

(エ) 就職状況

2018 年度卒業生における幼稚園教諭 2 種免許および保育士資格取得率は、いずれも 95.4% でした。就職希望者の 95.1% が、免許資格を生かし、幼稚園、保育所、認定こども園、または養護施設に就職しています。

また、国際観光学部にも 1 名、子ども教育学部にも 1 名編入し、本学での学びを継続しています。

(2) 地域連携、産官学連携、国際交流

ア. 高槻市地域子育て支援拠点事業ひろば型施設「どんぐりの森」

《2018 年度の実施状況》

(単位：日、人)

月	開館日数	利用者(子供)	月	開館日数	利用者(子供)
4	20	132	10	22	309
5	21	147	11	22	333
6	16	163	12	18	217
7	21	230	1	19	269
8	23	221	2	19	259
9	23	221	3	20	256

イ. 教員免許関係

教員免許状に関する講座を開講しました。

(ア) 教員免許状更新講習

7～8 月：14 講座（京都 4、高槻 10）を開講、延べ 924 名受講。

(イ) 幼稚園教諭免許状取得特例講座

春学期：3 科目・各 15 コマ、受講 16 名。秋学期：2 科目・各 15 コマ、受講 8 名。

ウ. 国際交流

(ア) イタリアのカ・フオスカリ大学より 5 月 8 日(火)に 8 名が来日、10 日(木)にオリエンテーションおよび歓迎会を行ないました。学生もチューターとして留学生の生活を助めました。6 月 13 日(水)には学科交流会がエディカフェにて行われ、イタリア、中国の学生を交えて交流しました。

(イ) 6 月 28 日(木)、マレーシア国立マラヤ大学の教員・学生が来校、黒井教授の TOEIC 演習の授業において交流会を開きました。

(ウ) 中国からの交流留学生 10 期生の出願は、厦門大学嘉庚学院 3 名、天津商業大学 2 名の計 5 名でした。9 月 21 日(金)に編入学式を行った後、2 講時から授業を開始しました。

(エ) 中国からの交流留学生 8 期生の卒業セレモニーは 7 月 24 日(火)、イタリアのカ・フオスカリ大学からの留学生のお別れセレモニーは同 27 日(金)に行いました。

(3) 就職支援・卒業後の状況（就職・進学）

ア. 2018 年度進路実績

(単位：人、%)

学科	卒業者数 (a) ※	進学者数	その他	就職 希望者数 (b)	就職者数 (c)	未内定数 (b)-(c)	就職率 (c)/(b)
国際観光学科	57	0	5	52	52	0	100.0
子ども教育学科	53	0	7	46	46	0	100.0
大学合計	110	0	12	98	98	0	100.0
短期大学部保育科	65	2	2	61	61	0	100.0

※卒業者数には、9 月入学の交流留学生を含まない

イ. 就職状況

教員・職員が入学直後から一人ひとりの進路希望や適性を把握し、進路選定・エントリーシートや履歴書作成のサポートなど、いつでも何度でも相談できる支援体制をとっています。また、後援会の支援を得て「SPI 対策講座」「各種資格試験対策講座」「メイクアップ講座」「アグネス教師塾」など学部学科の特性に合わせた講座を展開しました。

(ア) 国際観光学部

9月卒業の交流留学生は11名が卒業。進路の内訳は、大学院進学2名、大学院進学準備1名、専門学校進学1名、就職2名、帰国5名となっています。

(イ) 子ども教育学部

大阪府2名、川崎市1名、堺市1名の計4名が小学校教諭採用試験に合格、8名が講師（高槻市4名、大阪市2名、守口市1名、京都市1名）となりました。公立保育職については京都市1名、吹田市1名の計2名が合格しました。

(ウ) 短期大学部保育科

公立保育職に津山市1名、高槻市2名、高槻市任期付き1名の計4名が合格。

進学希望者1名が国際観光学部、1名が子ども教育学部に編入し、本学での学びを継続することになりました。

(4) 現状の課題と今後の取り組み

ア. 収容定員充足率80%の確保

(ア) 大学の2018年5月1日現在における収容定員（740名）充足率は、72.7%です。内訳は、国際観光学部が82.9%であるものの、子ども教育学部が61.9%と低迷しています。この傾向は、2019年度も同様であるものの、大学の収容定員充足率は78.2%まで改善しています。2020年度には、入学生124名で充足率80%は可能であり、ここ2年の入学生実績（2018年161名、2019年168名）から、収容定員充足率80%の達成は十分可能と考えます。

(イ) 短大の2018年5月1日現在の収容定員（200名）充足率は、67.5%ですが、2019年には77名の入学生があり、充足率は72.5%まで改善しています。

また、2019年3月に2020年度の入学定員を100名から80名に変更しました。これにより2020年度には、67名の入学で収容定員（180名）充足率80%となり、その達成は十分可能と考えます（入学生実績 2017年70名、2018年68名、2019年77名）。

イ. 教育内容の明確な差別化による選ばれる大学作り

これは、子ども教育学部、短期大学部保育科に、求められるものです。

(ア) 子ども教育学部では、2019年度より中学校の英語教諭免許が取得できるようにするとともに、更に実践英語力を向上させるため、海外留学制度を拡充しました。

(イ) 2019年度より、大学キャンパス内にある「幼稚園」を「認定こども園」に変更しました。これにより、キャンパス内に保育の実習施設を持つことになり、幼稚園教諭、保育士を目指す学生には、最高の教育環境を提供することになります。

ウ. 施設設備の改善

(ア) 2018年度は京都キャンパス室町館の耐震化工事の実施に合わせ、教室の机・イス、視聴覚機材の更新、食堂フロアの拡充、トイレの改装など学習及び学生生活環境の改善を図りました。

2019年度以降は、移転開校後32年を経過した高槻キャンパスの学習環境・学生生活環境の改善が課題となります。

(イ) 6月18日(月)に発生した大阪北部地震、9月4日(火)に近畿地方に上陸した台風21号に伴う被害など自然災害が続きました。臨時休講措置など緊急対応をしましたが、交通機関途絶の中での対策本部の設置や連絡体制の在り方について検討を迫られました。

(5) 資料編

ア. 卒業者数 (2019 年 3 月 31 日現在)

(ア) 大学

(単位：人、%)

学科	2015 年度 入学者数	卒業者		留年者		中途退学者	
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
国際観光学科	60	57	95.0	1	1.7	2	3.3
子ども教育学科	58	53	91.4	2	3.4	3	5.2
大学計	118	110	93.2	3	2.6	5	4.2

※入学者数・卒業者数には、編入学者及び過年度入学生を含む。9 月入学の交流留学生は含まない

(イ) 短期大学部

(単位：人、%)

学科	2017 年度 入学者数	卒業者		留年者		中途退学者	
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
保育科	70	65	92.9	1	1.4	4	5.7

イ. 免許・資格等取得者数 (2019 年 3 月 31 日現在)

(ア) 子ども教育学部子ども教育学科

幼稚園教諭一種免許状	小学校教諭一種免許状	保育士資格
46	39	39

(イ) 短期大学部保育科

幼稚園教諭二種免許状	保育士資格
62	62

ウ. 授業料・入学金等 (2018 年 4 月 1 日現在)

(ア) 大学

入学金 (入学時のみ)		250,000円
授業料 (年額)		980,000円
教育充実費	(1 年次年額)	170,000円
	(2 年次以降年額)	280,000円
入学検定料		30,000円
	センター試験利用型	5,000円
休学在籍料	(1 年休学)	60,000円
	(半年休学)	30,000円

(イ) 短期大学部

入学金 (入学時のみ)		100,000円
授業料 (年額)		930,000円
教育充実費	(1 年次年額)	170,000円
	(2 年次以降年額)	340,000円
入学検定料		30,000円
	センター試験利用型	5,000円
休学在籍料	(1 年休学)	60,000円
	(半年休学)	30,000円

3. 中学・高等学校

(1) 中高の現況と概要

入学者の増員を重点課題として取り組みを強化した結果、中学校・高等学校ともに計画定員を超える入学者を迎えることができました。引き続き募集活動を推進させるために、教育の質の向上を図り、その成果を効果的な広報に結び付けていくことが重要な課題です。

中学校・高等学校ともに新指導要領の改訂及び教育課題への改革が急速に進められる中で、ハード・ソフト両面での改善が課題です。取り分け、学びの方法の転換・進路保障の観点から導入が必至である情報教育機器整備が課題です。

また、教師の教育力向上に向けた教職員研修は継続し強化すべき課題です。そのための研修予算計上も必要です。20年後、30年後の社会を想定し、生徒に必要な能力・資質を育成するためには、従来当たり前としていた学校諸制度の見直しが必要です。一例として校則・修学旅行・主権者教育などの検討が課題です。教育課題を明らかにするために実施している「学校評価」「授業アンケート」については、引き続き改善を図りながら実施します。

進路保障においては、平安女学院大学への進学希望が増加傾向にあります。幼児教育進学コースはもとより、アグネス国際進学コースからも進学者を増やす努力を引き続き行います。なお、立命館大学進学コースの学力向上の指導を推進します。

いじめ防止や特別支援教育については、中等教育においては重要な課題であるため人権教育に力点を置いて進めていますが、初動の対応や保護者対応について更に研鑽を積む必要が見えています。引き続き学内外の専門家との連携を強めていきます。

(2) 主な教育活動や行事

ア. 主な行事

- (ア) 中高合同体育祭（6月8日(金)島津アリーナ京都）
- (イ) 人権学習会（10月4日(木)エディホール）
- (ウ) 文化祭（St. Agnes' Festival、9月6日(木)～10日(月)）台風21号被害によりエディホールが使用できずプログラム・会場変更等を行い実施しました。
- (エ) ビブリオバトル大会（中学校：10月11日(木)、全校大会：10月20日(土)）
- (オ) 団体鑑賞（宝塚歌劇団公演：9月3日(月)（高3アグネス・ES生徒）、2019年1月28日(月)（他全学年））
- (カ) 第85回クリスマス・カンタータ（12月15日(土)エディホール）約800名の来場があり、クリスマス献金は国内外18団体へ寄付しました。
- (キ) 〈高校幼児教育進学コース〉幼稚園・保育所見学観察実習（1～3年）、幼教フェスタ（10月6日(土)）、卒業ピアノ演奏会（3年）、公開ピアノ実技試験（1・2年）

イ. 修学旅行・研修旅行

- (ア) 高校2年立命館コース語学研修（Trinity Anglican School、オーストラリア、7月10日(火)～25日(水)）
- (イ) 高校2年アグネス・ES・幼児教育コース修学旅行（ニュージーランド、10月27日(土)～11月4日(日)）
- (ウ) 中学3年修学旅行（台湾、10月27日(土)～11月4日(日)）

ウ. 中学校行事

- (ア) 第5回ライムタイムカルタ大会（2019年1月24日(木)）、合唱コンクール（2月21日(木)）
- (イ) 農業実習（中1、年間4回実施）、職業体験学習（中2、11月8日(木)～10日(土)）
- (ウ) 校外見学学習…祇園祭・安藤百福発明記念館 大阪池田（中1）、Osaka English Village（中2）、時代祭見学（中2・3）

(3) 国際交流・地域連携・ジュニア英語・体操教室

ア. 姉妹校交流（隔年で訪問・受入を実施）・学校間交流

2016 年度より中 3 修学旅行で訪問している私立崇高女子中学校（台湾）が来校、姉妹校調印式を行いました（2019 年 1 月 30 日（水））。私立慶安女子中学校（大韓民国 慶尚北道 安東市）教員・生徒の訪問がありました（2018 年 12 月 18 日（火））。

イ. 生徒・教員による地域連携・交流活動

2018 年度活動実績は年間 13 回、10 箇所。バトントワリング部・吹奏楽部・箏曲部・コーラス部・ハンドベル部・茶道部・東日本大震災被災地応援実行委員会の各部活動・団体・有志生徒が各種諸行事に参加しました。

ウ. ジュニア教室（英語・体操）

ジュニア教室は毎週土曜日に延べ 72 回（英語 27 回・機械体操 21 回・新体操 24 回）を開催、2018 年度体験教室参加者の延べ人数は英語 3 人、体操（機械・新体操）16 人、会員登録者数は英語 48 人・体操 73 人となりました（2019 年 3 月集計）。なお、当該教室受講者のうち 2019 年度入試における中学校への進学者は 5 人でした。

エ. 小学生女子対象「わくわくスクール」（夏休み・冬休み）

小学 4 年～6 年女子児童を対象とした理科実験・茶道体験・トートバッグ作り・ヒップホップダンス・お正月用リース作りなど、各種 5 つの教室を開催し、受講生は延べ 87 人で、参加者からも好評でした。本校教員等が講師となり、当日の教室運営には茶道部・美術部・華道部などの生徒が参加しました。

(4) 進路について

ア. 立命館コース 66 名が立命館大学へ、1 名が立命館アジア太平洋大学（APU）へ進学しました。

イ. E S コース卒業 3 期生 12 名のうち、進学先は国公立大学 1 名、関関同立の各大学 1 名、四年制私立大学 5 名、短期大学 2 名となりました。

ウ. 高等学校から平安女学院大学への進学者は 36 名（国際観光学部 18 名、子ども教育学部 11 名、短期大学部保育科 7 名）でした。うち、幼児教育進学コースから平安女学院大学への進学者は 19 名（国際観光学部 1 名、子ども教育学部 11 名、短期大学部保育科 7 名）でした。

(5) 現状の課題・これからの取組み

ア. キリスト教学校の使命を明確にし、教育理念の理解を深め、人間教育を発展させます。

イ. 中学校 60 名、高等学校 150 名の入学者獲得のために、「安心・安全・成長」をスローガンに授業改善を進め教育内容の向上を図り、地域に支持される学校づくりを推進させます。

ウ. 教科教育においては「学びの方法」と「質の改善」を図るために研修・実践交流を推進します。

エ. 変形労働時間制に基づき教員の長時間勤務の改善を図ります。

(6) 資料編

ア. 卒業生数 (2019 年 3 月 31 日)

高等学校コース	3 年	
	クラス数	人数
アグネス総合進学	2	46
E S	1	12
立命館	2	69
幼児教育進学	1	23
合 計	6	150

中学校コース	3 年	
	クラス数	人数
グローバル・ステップ	1	17
エキスパート・ステップ		6
立命館・ステップ	1	32
合 計	2	55

イ. 卒業生の進路一覧 (2019 年 3 月 31 日現在)

高等学校 進 路		コース				計
		アグ ネス	E S	立命館	幼児 教育	
進学	大 学	39	7	68	16	130
	短期大学	3	2	1	7	13
	専門学校	2	0	0	0	2
就 職		0	0	0	0	0
そ の 他		2	3	0	0	5
合 計		46	12	69	23	150

中 学 校 進 路		人数
進学	平安女学院高校	52
	他 高校	3
その他		0
合 計		55

(高等学校) 主な大学の合格者数

大学	合格者	大学	合格者
平安女学院大学	29	京都府立大学	1
平安女学院大学短期大学部	7	関西医科大学	2
立命館大学	66	京都看護大学	2
立命館アジア太平洋大学	1	関西看護医療大学	1
関西学院大学	3	聖泉大学	1
同志社大学	1	宝塚医療大学	1
関西大学	2	神戸学院大学	1
日本女子体育大学	1	同志社女子大学	3
京都産業大学	1	関西外国語大学	2
近畿大学	1	京都文教大学	1

ウ. 生徒納付金 (2018 年 4 月 1 日現在)

種別	中学校	高等学校	備考
入 学 金	100,000 円	100,000 円	入学時
施 設 費	20,000 円	20,000 円	
授 業 料	580,000 円	580,000 円	1～3 年次 年額
教育充実費	175,000 円	175,000 円	

4. 大学附属幼稚園

(1) 現状と概要

ア. 教育時間

曜 日	教育時間帯	時 間
月・火・木・金	9:00～14:20	5時間20分
水	9:00～12:20	3時間20分

イ. 教育内容…幼稚園教育要領に則り、本学の建学の精神であるキリスト教を基本として、幼児の健やかな成長を願い、遊びを通して、幼児期にふさわしい体験が豊富にできるように、また生活を営むことができるように指導を展開しています。

ウ. 行事

(ア) アグネス夏祭り…2018年8月25日(日)に幼稚園にて開催しました。

(イ) 運動会…10月13日(日)大学グラウンドにて行ないました。

(ウ) クリスマス礼拝…12月15日(日)5歳児がページェントを行い、16日(月)にはサンタクロースを招いて祝会、同日夕方に燭火礼拝及びキャロリングを行いました。

(ウ) 交通安全教室…2019年3月1日(金)高槻警察署員に来ていただき開催しました。

エ. 改修工事…8月から12月末に、2019年4月よりの認定こども園移行に係る園舎の大規模改修工事を行いました。また、エレベーターを新設しました。

(2) 地域交流と子育て支援

ア. こいのぼりフェスタ 1000…5歳児が製作したこいのぼりを出展しました。

イ. ミス・ブール記念ホームの慰問…5歳児が特別養護老人ホームに慰問に出かけ、歌やじゃんけん遊びなどを一緒に楽しみました。

ウ. 高槻アート博覧会…巨大絵画アーケード展に出展し、『わくわく賞』を受賞しました。

エ. 未就園児親子登園クラス(てんしぐみ)…金曜日に実施し、15組の親子が、年間38回登園しました。(開室日:金曜日10:00～11:30、料金:入会金3,000円、月額2,000円)

オ. 中学生職業体験受け入れ…地域の中学生を14名受け入れました。

(3) 大学・高校との交流

ア. 実習生の受け入れ…子ども教育学部からインターンシップ、短大保育科および高校幼児教育進学コースから実習生を受入れました。

イ. 学園祭への参加…オープニングで「おどるんようび」体操を踊りました。

ウ. 大学クリスマスカンタータへ参加…5歳児が、聖歌を2曲歌いました。

(4) 園外保育

ア. 遠足…5月22日(火)に万博記念公園、11月6日(火)に三島江河川敷公園へ出かけました。

イ. キャンプ…8月29日(水)・30日(木)に5歳児が、学内で一泊保育を行ないました。

ウ. 雪遊び…2019年1月29日(火)に5歳児は、六甲山スノーパークへ雪遊びに出かけました。

(5) 預かり保育

8時から19時まで開園。3月の月極利用者は前年度より5名増加で16名となりました。

ア. 2018年度利用状況…年間5,066人が利用されました。

イ. 預かり保育時間

曜日	月～金曜日（平日）	長期休暇中（夏・冬・春休みの平日）
時間	8：00～9：00、保育終了～19：00	8：00～19：00

(6) 幼稚園の廃止と認定こども園の新設

2018年3月末をもって、103年続いた幼稚園を廃止し、2019年4月1日より時代と地域のニーズに応じて、幼保連携型認定こども園「平安女学院大学附属こども園」を開設します。

(7) 現状の課題と今後の取組

ア. 保育対応時間が、幼稚園の「週24時間40分」から、こども園では「週68時間30分」に、約2.8倍の拡大となります。

これを、幼稚園の教職員をベースに、拡充された体制で安定した運営を行うため、この1年は処遇改善を含め、試行錯誤が続くと思われます。

イ. 大学附属こども園として、保育・教育の質および教育環境について、保護者から「地域一番」のこども園と言われるように、改善を重ねていくことが課題です。

そのため、園児一人ひとりの個性を大事にしながら柔軟に保育をし、子どもが伸びやかに育つことで保護者との信頼関係を築き、その輪が地域に広がって地域から信頼される園にしていく取り組みを継続していきます。

(8) 資料編

ア. 保育料

科目	金額（月額）	金額（年額）
入園料	—	100,000円
保育料	21,000円	252,000円
教育充実費	5,000円	60,000円
計	26,000円	412,000円

イ. 預かり保育料

通常保育			長期休暇期間	
時間	料金		時間	料金
	午後保育	午前保育		
8：00～9：00	300円	300円	8：00～9：00	300円
保育終了後～16：00	600円	1,000円	9：00～12：00	800円
～17：00	800円	1,200円	12：00～16：00	1,000円
～18：00	1,100円	1,500円	～17：00	1,200円
～19：00	1,400円	1,800円	～18：00	1,500円
月極め	15,000円		～19：00	1,800円
			8月のみ月極め	20,000円

ウ. 保護者への補助金

2018年4月より、高槻市の5歳児幼児教育は、無償化されました。

V 財務の概要

1. 2018 年度の決算概要と財務の課題

(1) 「2018 年度は、3つの課題解決を目指してスタート」

ア. 学校としてのインフラ整備として大学京都キャンパス耐震補強工事の完了。

この完了で、学校法人の全ての建物に関する耐震工事が終了となります。

イ. 地域と時代のニーズに対応し、103年の歴史を持つ幼稚園を2019年4月1日から認定こども園に転換。そのため、園舎の大規模改修工事を今期、実施。

ウ. 学校法人としての経営基盤強化のため、事業活動収支計算書の経常収支差額について3年振りの黒字化を達成。

(2) 「2018 年度決算概要」…大学京都キャンパス耐震工事及び認定こども園園舎への大規模改修工事を無事完了した上で、経常収支差額は+36 百万円の黒字となりました。

ア. 「経常収支差額」は+35,593 千円となり、3年振りに黒字化しました。これは経常収入の66%を占める学生生徒等納付金収入が、学生生徒数の6年連続の増加で、2009年以来、9年振りに13億円台の高水準となった結果です。加えて、2018年12月から、1年4ヶ月の期間を決めてスタートした創立145周年記念募金の38,000 千円が、寄与したものです。

「基本金組入前当年度収支差額」でも、+413,350 千円の大幅黒字となりました。

これは施設設備補助金 379,133 千円が特別収入で入ったことによるものです。

イ. 耐震及び、こども園の工事を除いた決算は次のとおりです。

教育活動支出の教育研究費には、耐震工事関連経費 30,014 千円、こども園改修工事関連経費 9,531 千円の計 39,545 千円が含まれています。また、特別収入の施設設備補助金には、本工事に対する補助金 379,133 千円が計上されています。この影響を排除した場合は、教育活動収支差額 55,913 千円が、95,458 千円。経常収支差額 35,593 千円が、75,138 千円。

基本金組入前当年度収支差額 413,350 千円が、73,762 千円となります。

ウ. 資金収支は、収入総額 3,341 百万円に対し、支出総額は 3,245 百万円で 96 百万円の収入超過となりました。

これは、借入返済支出 470 百万円、施設関係支出 961 百万円、設備関係支出 35 百万円に対して、補助金収入 823 百万円の内、施設設備補助金 379 百万円が遅れても対応できるように、借入金・学校債収入 1,307 百万円と、厚めの資金手配をしたことによるものです。

(3) 「今後の財務の課題」…大きくは次の2点に集約出来ます。

ア. 耐震工事等により過大となっている外部負債の圧縮

今回の耐震工事および2年前の中高校舎の耐震工事で、金融機関借入 1,200 百万円を行いました。また、今回はこども園への大規模改修工事もあったので、当面の各種支払い準備のため手許余裕資金借入 240 百万円を行いました。

結果、本年度末では、運用資産（現預金+特定資産+有価証券）920 百万円に対し、外部負債（借入金+学校債+未払金）が 2,981 百万円あります。外部負債の5年以内での 2,000 百万円未満への圧縮が課題と考えます。

イ. 安定して経常収支差額で黒字を計上できる運営体質の構築

来年度は、学生生徒総数で 1,450 名体制による学生生徒等納付金収入 14 億円台の確保と、2020 年度における大学、短大での収容定員充足率 80%以上の達成が課題です。

2. 2018 年度の決算内容

(表 1) は「事業活動収支計算書」、(表 2) は「資金収支計算書」です。いずれも科目は大科目で表示しています。それぞれの計算書を企業会計に当てはめると、「事業活動収支計算書」は「損益計算書」、「資金収支計算書」は「キャッシュフロー計算書」に該当します。

(1) 「事業活動収支計算書」(表 1)

ア. 教育活動収支差額 … 教育活動の収支状況を表し、56 百万円の黒字です。

(ア) 収入の部の合計は、2,004 百万円で、前年比 198 百万円の大幅増加となりました。

- a. 「学生生徒等納付金」は 1,332 百万円で、大学、短大、高校、中学、幼稚園の学納金の合計です。全ての学校で学生生徒数が増加し、前年比 64 百万円の増加となりました。
- b. 「手数料」は 19 百万円で、主たる収入は入学検定料です。
- c. 「寄付金」は 51 百万円で、前年比 40 百万円の大幅増加となりました。これは、145 周年記念募金の寄付 38 百万円によるものです。
- d. 「経常費等補助金」は 444 百万円で、「施設設備補助金」以外の補助金です。
- e. 「付随事業収入」は 51 百万円で、京都学生用マンションや高槻アグネス寮費等です。
- f. 「雑収入」は 108 百万円で、主たる収入は退職金財団交付金 75 百万円です。

(イ) 支出の部の合計は、1,948 百万円です。

- a. 「人件費」は 1,093 百万円で、前年比 168 百万円の増加です。退職金 45 百万円、退職給与引当金組入 18 百万円がその主な要因です。
- b. 「教育研究経費」は 652 百万円です。学生や教職員の教育研究活動に要した経費です。前年比 67 百万円の増加ですが、耐震・こども園の工事関連経費 40 百万円がその主な要因です。
- c. 「管理経費」は 202 百万円です。法人業務や学生生徒募集対策等に要した経費です。
なお、資金収支計算書(表 2)の教育研究経費支出および管理経費支出には、減価償却額が算入されないため差異があります。

イ. 教育活動外収支差額 … 財務活動による収支状況を表し、20 百万円の赤字です。

「借入金等利息」は、20 百万円で、市中金融機関の借入金利息と学校債利息です。

ウ. 経常収支差額 … 経常的な収支状況を表し、36 百万円の黒字です。

「ア. 教育活動収支差額」に「イ. 教育活動外収支差額」を加算した額です。

エ. 特別収支差額 … 臨時的な収支状況を表し、378 百万円の黒字です。

特別収入は、耐震・こども園工事に伴う「施設設備補助金」379 百万円と、特別支出での「資産処分差額」9 百万円が主な内容です。

オ. 基本金組入前当年度収支差額 … 毎年度の収支状況を表し、413 百万円の黒字です。

「ウ. 経常収支差額」に「エ. 特別収支差額」を加算した額です。

カ. 基本金組入額 … 学校法人を維持するために必要な資産を継続的に保持するための組入額で、本年度の組入額合計は、482 百万円となりました。

「第 1 号基本金」の建物・構築物で当期 482 百万円を組入れました。

(2) 「資金収支計算書」(表 2)

ア. 収入の部…3,341 百万円の収入でした。

(ア) 「学生生徒納付金収入」1,332 百万円、「補助金収入」の 823 百万円で、全体収入 3,341 百万円の 65%を占めます。特に、補助金収入は、耐震工事等の関係で前期比 398 百万円増加しています。

(イ) 「借入金等収入」は 1,307 百万円で、市中金融機関からの借入金および学校債です。本年度は、耐震工事借入 600 百万円に加え、手元余裕資金借入 240 百万円を行ったことで大きく膨らんでいます。

(ウ) 「前受金収入」は 265 百万円で、翌年度分の学生生徒等の授業料等です。

(エ)「その他の収入」は 53 百万円です。

イ. 支出の部…3,245 百万円の支出でした。

(ア)「借入金等返済支出」は 499 百万円です。

(イ)「施設関係支出」は 961 百万円で、大学耐震工事 782 百万円、こども園工事 151 百万円が主な内容です。

2018 年度 事業活動収支計算書 (表 1)

2018 年 4 月 1 日から 2019 年 3 月 31 日まで

(単位 千円)

		科 目	2018年度 予算（第二次）	2018年度 決算	予算との差異	2017年度 決算	2017年度との差異	
			①	②	①－②	③	②－③	
教育活動収支	収入の部	学生生徒等納付金	1,334,883	1,331,622	3,261	1,267,556	64,066	
		手数料	15,245	18,976	△ 3,731	16,460	2,516	
		寄付金	51,800	50,751	1,049	10,400	40,351	
		経常費等補助金	420,250	443,801	△ 23,551	425,473	18,328	
		国庫補助金	129,575	142,036	△ 12,461	123,420	18,616	
		地方公共団体補助金	290,475	301,765	△ 11,290	301,598	167	
		その他補助金	200	0	200	455	△ 455	
		付随事業収入	45,000	50,896	△ 5,896	38,942	11,954	
		雑収入	93,425	107,720	△ 14,295	46,598	61,122	
		教育活動収入計	1,960,603	2,003,766	△ 43,163	1,805,429	198,337	
	支出の部	人件費	1,063,425	1,093,361	△ 29,936	1,024,864	68,496	
		教員人件費	707,950	710,140	△ 2,190	692,308	17,833	
		職員人件費	324,755	319,472	5,283	331,972	△ 12,500	
		役員報酬	720	660	60	585	75	
		退職金	30,000	45,114	△ 15,114	0	45,114	
		教育研究経費	673,956	652,191	21,765	585,124	67,067	
		（うち、室町館耐震補強改修工事関連経費）		〈30,014〉	0		0	
		（うち、認定こども園改修工事関連経費）		〈 9,531〉	0		0	
		（うち、減価償却額）	（ 158,200）	（ 162,613）	（ △ 4,413）	（ 146,379）	（ 16,233）	
		管理経費	200,487	202,116	△ 1,629	203,917	△ 1,801	
		（うち、減価償却額）	（ 16,500）	（ 14,984）	（ 1,516）	（ 15,185）	（ △ 202）	
		徴収不能額等	1,000	184	816	628	△ 444	
		教育活動支出計	1,938,868	1,947,852	△ 8,984	1,814,533	133,319	
教育活動収支差額		21,735	〈 95,458〉 55,913	△ 34,178	△ 9,104	65,018		
教育活動外収支	収入の部	受取利息・配当金収入	200	179	21	227	△ 48	
		その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0	
		教育活動外収入計	200	179	21	227	△ 48	
	支出の部	借入金等利息	20,750	20,499	251	21,245	△ 746	
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0	
		教育活動外支出計	20,750	20,499	251	21,245	△ 746	
教育活動外収支差額		△ 20,550	△ 20,320	△ 230	△ 21,018	697		
経常収支差額 (A)		1,185	〈75,138〉 35,593	△ 34,408	△ 30,122	65,715		
特別収支	収入の部	資産売却差額	0	0	0	0	0	
		その他の特別収入	378,600	387,171	△ 8,571	38,215	348,955	
		施設設備寄付金	0	0	0	279	△ 279	
		現物寄付	22,600	1,547	21,053	37,808	△ 36,261	
		施設設備補助金	0	〈0〉 379,133	△ 379,133	0	379,133	
		過年度修正額	0	6,491	△ 6,491	129	6,362	
		特別収入計	378,600	〈8,038〉 387,171	△ 8,571	38,215	348,955	
	支出の部	資産処分差額	1,000	9,395	△ 8,395	1,411	7,984	
		その他の特別支出	20	19	1	148	△ 129	
		特別支出計	1,020	9,414	△ 8,394	1,558	7,855	
		特別収支差額 (B)		377,580	〈△1,376〉 377,757	△ 177	36,657	341,100
		【予備費】 (C)		40,000		40,000		
基本金組入前当年度収支差額 (A+B-C)		338,765	〈73,762〉 413,350	△ 74,585	6,535	406,815		
基本金組入額合計		△ 420,000	△ 481,738	61,738	△ 321,407			
当年度収支差額		△ 81,235	△ 68,388	△ 12,847	△ 314,873			
前年度繰越収支差額		△ 6,585,609	△ 6,585,610	1	△ 6,270,737			
基本金取崩額		0	0	0	0			
翌年度繰越収支差額		△ 6,666,844	△ 6,653,998	△ 12,846	△ 6,585,610			

(参考)

事業活動収入計	2,339,403	2,391,115	△ 51,712	1,843,871	547,244
事業活動支出計	2,000,638	1,977,765	22,873	1,837,337	140,429

経常収入計	1,960,803	2,003,945	△ 43,142	1,805,656	198,289
経常支出計	1,959,618	1,968,352	△ 8,734	1,835,778	132,573

2018 年度 資金収支計算書 (表 2)

2018 年 4 月 1 日から 2019 年 3 月 31 日まで

(単位 千円)

収 入 の 部				支 出 の 部			
科 目	予 算 ①	決 算 ②	差 異 ①－②	科 目	予 算 ①	決 算 ②	差 異 ①－②
学生生徒等納付金収入	1,334,883	1,331,622	3,261	人 件 費 支 出	1,093,425	1,105,568	△ 12,143
手 数 料 収 入	15,245	18,976	△ 3,731	教育研究経費支出	515,756	489,330	26,426
寄 付 金 収 入	51,000	50,502	498	管 理 経 費 支 出	184,007	187,820	△ 3,813
補 助 金 収 入	797,750	822,934	△ 25,184	借入金等利息支出	20,750	20,499	251
資 産 売 却 収 入	0	0	0	借入金等返済支出	489,400	498,700	△ 9,300
付随事業・収益事業収入	45,000	50,896	△ 5,896	施 設 関 係 支 出	986,375	961,019	25,356
受取利息・配当金収入	200	179	21	設 備 関 係 支 出	50,948	35,466	15,482
雑 収 入	71,525	114,211	△ 42,686	資 産 運 用 支 出	0	0	0
借 入 金 等 収 入	1,307,000	1,307,000	0	そ の 他 の 支 出	41,721	43,200	△ 1,479
前 受 金 収 入	245,201	265,219	△ 20,018	予 備 費	40,000	—	0
そ の 他 の 収 入	62,551	53,396	9,155	資金支出調整勘定	△ 48,166	△ 96,344	48,178
資金収入調整勘定	△ 656,535	△ 674,284	17,749	翌年度繰越支払資金	600,599	796,390	△ 195,791
前年度繰越支払資金	700,995	700,996	△ 1				
収 入 の 部 合 計	3,974,815	4,041,647	△ 66,832	支 出 の 部 合 計	3,974,815	4,041,647	△ 66,832

(3) 「貸借対照表」(表 3)

ア. 資産の部

前年度末に比べ 1,322 百万円増加し、9,547 百万円となりました。

増加要因は、大学校舎の耐震改修工事・こども園への大規模改修工事に伴う建物で 825 百万円、補助金の未収入金 410 百万円の増加等によるものです。

イ. 負債の部

前年度末に比べ 909 百万円増加し、3,591 百万円となりました。増加要因は、長短借入金 770 百万円増加、学校債の増加 38 百万円、追加工事に伴う未払金 61 百万円の増加等によるものです。

ウ. 純資産の部(基本金+繰越収支差額)

前年度末に比べ 413 百万円増加し、5,956 百万円となりました。

2018 年度 貸借対照表 (表 3)

2019 年 3 月 31 日

(単位 千円)

資 産 の 部				負債及び純資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減	科 目	本年度末	前年度末	増 減
資産				負債	3,590,578	2,681,909	908,669
固定資産	8,307,343	7,497,707	809,637	固定負債	3,003,901	2,263,508	740,393
有形固定資産	8,137,543	7,326,503	811,040	長期借入金	1,870,000	1,130,000	740,000
土地	3,409,257	3,409,257	0	学校債	872,300	859,700	12,600
建物	3,817,969	2,993,427	824,542	退職給与引当金	261,601	273,808	△ 12,207
その他の有形固定資産	910,317	923,819	△ 13,503	流動負債	586,677	418,401	168,276
特定資産	120,000	120,000	0	短期借入金	100,000	70,000	30,000
その他の固定資産	49,801	51,204	△ 1,403	1年以内償還予定学校債	45,100	19,400	25,700
流動資産	1,239,580	727,198	512,382	前受金	265,219	243,536	21,683
現金預金	796,390	700,996	95,394	その他の流動負債	176,358	85,465	90,893
未収入金	430,748	21,051	409,697	純資産	5,956,346	5,542,996	413,350
その他の流動資産	12,442	5,151	7,292	基本金	12,610,344	12,128,606	481,738
				第1号基本金	12,477,344	11,995,606	481,738
				第4号基本金	133,000	133,000	0
				繰越収支差額	△ 6,653,998	△ 6,585,610	△ 68,388
合 計	9,546,924	8,224,905	1,322,019	合 計	9,546,924	8,224,905	1,322,019

(4) 「財産目録」(表4)

2018年度の「正味財産」(「資産総額」－「負債総額」)は、5,956百万円となり、前年度末の正味財産5,543百万円に対し、413百万円増加しました。

財産目録 (表4)

科 目		2019年3月31日	
Ⅰ. 資 産 額			
1.	基本財産		
	土地	800,694.33㎡	3,409,257千円
	建物	44,487.73㎡	3,817,969千円
	その他の基本財産		910,317千円
	基本財産 計		8,137,543千円
2.	運用財産		
	現金及び預金		796,390千円
	引当特定預金		120,000千円
	未収入金		430,748千円
	その他の運用財産		62,243千円
	運用財産 計		1,409,381千円
	資 産 総 額		9,546,924千円
Ⅱ. 負 債 額			
1.	固定負債		
	長期借入金		1,870,000千円
	学校債		872,300千円
	退職給与引当金		261,601千円
	固定負債 計		3,003,901千円
2.	流動負債		
	短期借入金		100,000千円
	1年以内償還予定学校債		45,100千円
	前受金		265,219千円
	その他の流動負債		176,358千円
	流動負債 計		586,677千円
	負 債 総 額		3,590,578千円
Ⅲ. 正 味 財 産 （資産総額－負債総額）		5,956,346千円	

(5) 監事の監査報告書

監事監査報告書	
令和元年5月22日	
学校法人 平安女学院	
理 事 会 御 中	
評 議 員 会 御 中	
監 事	龍 崎 一
監 事	下 元 光 明
私たちは、私立学校法第37条第3項及び学校法人平安女学院寄附行為第14条の規定に基づき、学校法人平安女学院の平成30年度(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)の業務並びに財産状況について監査した。 私たちは監査に当たり、理事会及び評議員会に出席し、理事から業務の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧するとともに、会計監査人と連携し、計算書類について検討するなど、必要と思われる監査手続を実施した。 監査の結果、学校法人平安女学院学校の業務に関する決定及び執行は適切であり、計算書類、すなわち、資金収支計算書、事業活動収支計算書及び貸借対照表(固定資産明細表、借入金明細表及び基本金明細表を含む。)並びに財産目録は、その収支及び財産の状況を正しく示しており、業務又は財産に関する不正の行為、または、法令もしくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認める。	

3. 財務状況の推移

(1) 経常収支差額の推移

経常収支差額が、3年振りに黒字の36百万円に復活しました。

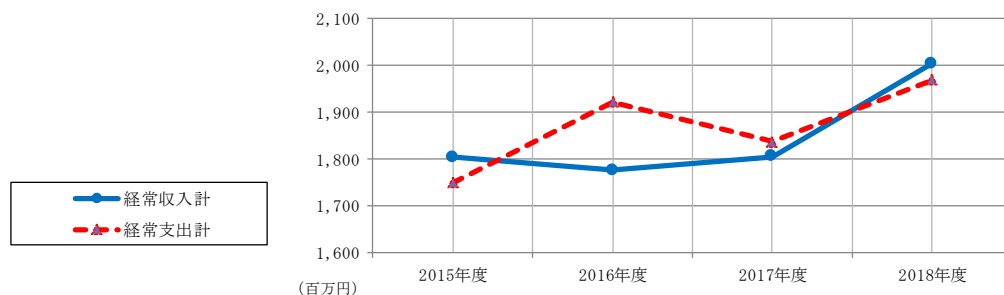
(単位：百万円)

	科 目	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	前年比
教育活動収支	学 納 金	1,225	1,235	1,268	1,332	64
	寄 付 金	14	20	10	51	41
	補 助 金	453	416	425	444	19
	そ の 他	110	104	102	177	75
	計	1,802	1,775	1,805	2,004	199
	人 件 費	1,008	997	1,025	1,093	68
	教 育 研 究 費	519	674	585	652	67
	管 理 経 費	199	228	204	202	△ 2
	そ の 他	0	0	0	0	0
	計 (内、減価償却額)	1,726 (139)	1,899 (149)	1,814 (162)	1,948 (178)	133 (16)
	教育活動収支差額	77	△ 125	△ 9	56	65
教育活動外収支	教育活動外収入	1	1	0	0	0
	教育活動外支出	23	22	21	20	△ 1
	教育活動外収支差額	△ 21	△ 22	△ 21	△ 20	1
	経常収支差額	55	△ 146	△ 30	36	66

(参考)

経常収入計	1,803	1,776	1,805	2,004	198
経常支出計	1,749	1,921	1,836	1,968	110

経常収支の推移



(2) 主要財務比率の推移

(評価 = △：高い方がよい ▼：低い方がよい)

人件費依存率を除く、主な比率は前年比で改善することができました。

また、流動比率は200%を超える211%となりました。

比 率	算 式 (×100)	評価	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	平成29年度 全国平均 (医歯薬を除く)
人 件 費 依 存 比 率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	▼	82.3%	80.7%	80.8%	82.1%	71.9%
人 件 費 比 率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{経 常 収 入}}$	▼	55.9%	45.1%	56.8%	54.5%	53.8%
教 育 研 究 費 比 率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経 常 収 入}}$	△	29.7%	38.0%	32.4%	32.5%	33.3%
管 理 経 費 比 率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経 常 収 入}}$	▼	11.0%	12.8%	11.3%	10.1%	8.8%
経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収入計} - \text{経常支出計}}{\text{経 常 収 入}}$	△	3.0%	△8.2%	△1.7%	1.8%	3.9%
流 動 比 率	$\frac{\text{流 動 資 産}}{\text{流 動 負 債}}$	△	171.5%	144.2%	173.8%	211.3%	248.3%

4. 学校法人会計の概要と用語説明

学校法人会計基準は、平成 25 年 4 月 22 日 文部科学省令により、学校法人の作成する計算書類等の内容がよりわかりやすく、かつ的確に財政及び経営状況を把握できるものに改正されました。

国または地方公共団体から経常費補助金の交付を受ける学校法人は、「私立学校振興助成法」の定めにより「学校法人会計基準」に従って計算書類を作成し、公認会計士または監査法人による監査を受けて所轄庁に届け出ることが義務づけられています。

「学校法人会計基準」に定められている計算書類は、「資金収支計算書」、「事業活動収支計算書」、「貸借対照表」の 3 表です。また、「私立学校法」により、これらの他に「財産目録」、「事業報告書」を作成することになっています。

（１）資金収支計算書…企業会計の「キャッシュフロー計算書」に類似します。

- ア. 「資金収支計算書」は、学校法人の当該年度（4 月 1 日～翌年 3 月 31 日）の全ての収入と支出の内容ならびに支払資金（現金預金）の収入・支出の顛末を明らかにするものです。
- イ. 内訳として「資金収支内訳表」（学校法人、大学各学部別および大学計、短期大学部、高校、中学、幼稚園、総額の組織別資金収支を記載）、「人件費支出内訳表」（人件費について組織別に記載）の他、「活動区分資金収支計算書」を作成しています。
- ウ. 「活動区分資金収支計算書」では、「教育活動」、「施設整備等活動」、「その他の活動」（借入金の収支等、主に財務活動）ごとに資金の流れを把握することができます。

（２）事業活動収支計算書…企業会計の「損益計算書」に類似します。

- ア. 「事業活動収支計算書」は、当該年度の収入と支出について、本業での収支を「教育活動収支」、その結果を「教育活動収支差額」、財務活動での収支を「教育活動外収支」、その結果を「教育活動外収支差額」、この 2 つの合計を「経常収支差額」として記載します。
- イ. この後に資産売却等の臨時的な収支を「特別収支」、その結果を「特別収支差額」、以上全ての収入と支出の差額を「基本金組入前当年度収支差額」として記載します。さらに、「基本金組入額合計」、「当年度収支差額」、「前年度繰越収支差額」、「翌年度繰越収支差額」と長期の収支バランスを示す項目が続きます。
- ウ. 脚注には、「事業活動収入計」（教育活動収入＋教育活動外収入＋特別収入）、「事業活動支出計」（教育活動支出＋教育活動外支出＋特別支出）を記載します。

（３）貸借対照表…年度末における財政状態を表したものです。

- ア. 学校法人の資産に対する負債（他人資本）と純資産（基本金＋繰越収支差額（翌年度繰越収支差額））（自己資本）の額を明らかにします。
- イ. 基本金は、学校法人がその諸活動に必要な資産を継続的に保持するために維持すべきものとして、その事業収入の内から組入れた金額です。

第 1 号基本金	取得した固定資産の価額
第 2 号基本金	将来取得する固定資産に充てるために、事前に計画的、段階的に積み立てる金銭その他の資産の価額
第 3 号基本金	奨学基金等として継続的に保持し、かつ運用する金銭その他資産の価額
第 4 号基本金	恒常的に保有すべき資金

（４）財産目録…貸借対照表の資産や負債の具体的内容を表したものです。

学校法人が所有する土地や建物の面積、図書の冊数などを知ることができます。また、財産目録は、「基本財産」（私立学校に必要な施設および設備またはこれらに要する資金）と「運用財産」（私立学校の経営に必要な財産）に区分して記載することになっています。

2018 年度 事 業 報 告 書

発 行 日 : 2019年5月28日

発 行 者 : 学校法人 平安女学院

発 行 所 : 学校法人平安女学院 法人本部事務局
京都市上京区下立売通烏丸西入五丁目町 172-2
電話 075 (414) 8155
<http://www.heian.ac.jp>



1915 年より 103 年間続いた幼稚園は、2019 年 4 月から「平安女学院大学附属こども園」として新たなスタートを切ります。